

傍聴席

初めての議会傍聴

細川秋夫（神代）

退職し、時間的な余裕が出来、今回初めて議会を傍聴する機会を得た。

一般質問では、新人議員からはこの度の集中豪雨の被害についての対応策など、時節柄の的を得た質問が。また、ベテラン議員からの質問は、様々な立場から、その経験を活かした深みのある内容であったと感じた。

市長や当局の答弁も一辺倒でない、真剣さが伺われた。

一つ残念だったこと。私は素人故、議会運営についての詳細は知る由もないが、開会が一時間も遅れた。その理由として、開会前に緊急質問の提示があり、それについて取り上げの可否の協議のため運営会議が行われたこと。その間、市長始め幹部職員は手持ち無沙汰の体。この時間、色々な意味でもつたいないと感じた。今後改善を望みたい。

ともあれ、門脇市政となつて早一年。議員の皆さんも本年4月2回戦になつたばかり、今後とも旧町村代表というよりもオール仙北という意識での議員活動をお願いしたい。



そして「仙北市民でよかった。」と思える方向づけがなされることに私も一人の市民として協力していきたい。

編集後記

▼たび重なる水害に対して市民の皆様には不安を与えたが、迅速かつ適確な対応した消防団に感謝したい。

▼一般質問7名のうち6名が豪雨被害について質問した。

常習的氾濫箇所には、災害復旧で対応してきたツケが大きい。抜本的な回収を望むものである。

▼久しぶりに傍聴席が活気づいた。

常連の他に新顔があり元議員、前議員が熱心に耳を傾けていた。

ある政党の副代表を務める前議員は、由利本荘市、にかほ市と県南の議会を傍聴してきたが、仙北市議会が

一番活発だと言われた。お世辞であっても嬉しいことである。

▼議会最終日、今年の米を取り巻く環境は、かつてないほど厳しい状況にあることから、議員提出議案として意見書が採択された。

農家経営のみならず、地域経済にも重大な影響が心配されるところである。

安藤記



広報編集風景

《請願書の書き方》

請願書の様式は特に決まっていないが一般的には、公文書の書き方である。例えば市道の未舗装の改良を地域会でお願ひする場合は地域会の会長の自筆と印、地区の代表者の自筆氏名印、紹介議員2名の自筆氏名印、紹介議員の印は必ずしも必要でないが氏名は自筆でなければならぬ。紹介議員は必ず担当常任委員会以外の議員。地区住民全員の氏名印は付けてもいいが付けなくてもいい。

米価の安定対策に関する意見書

生産者を揺るがす昨今の米価の下落により、稲作農家は深刻な事態に陥っている。

長年続いている生産コストを大幅に割り込んだ米価により、もはや米の生産を継続していくことが困難な状況にあって、地域の農業を守るために努力している集落営農組織や効率的といわれていた大規模農家でさえも経営の危機にさらされている。

こうした現象は個々の農家経営のみならず地域経済にも重大な影響をもたらすものである。

国際的に食糧事情が悪化しているため稲作の安定生産と食糧自給率の向上は喫緊の課題である。この対策として稲作農家の再生産を保障するため備蓄米を政府が確実に買い上げる政策など、抜本的な米価に対する安定策が不可欠である。

以上のことから、次の事項について、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

記

政府が米の受給と価格に責任を持ち、米の価格保障と所得補償にあたり再生産を保障する水準に充実させること。
平成22年9月27日

秋田県仙北市議会議長 佐藤峯夫

内閣総理大臣 菅 直人 殿
農林水産大臣 鹿野道彦 殿

訂正とおわび

第19号せんぼく市議会だよりで8ページに誤りがありました。

誤「阿部則比彦」
正「阿部則比古」

訂正してお詫び申し上げます。